

採決強行、野党が猛反発

国民投票法案 辻元氏「角も牙も出た」

国民投票法案の衆院委員
員会可決について安倍首相は12日、首相官邸で

「相当長い議論、深い議論をしてきたと思います。その結果いよいよ採決をするときが来たのだろうと思います」と期待感を示した。――一面参照

中山太郎・衆院憲法調
査特別委員長も「混乱の

中で採決をしたことは残念だが、国民の手に主権が確立されるとの観点から、これで正しかったと思ふ」と強調した。

公明党の赤松正雄・同
委員事は「常に選挙もあるし、常に戦時だ。戦後60年間、決められていなかった手続き法を出来るだけ早い時に決めなきゃ

ならない」と述べた。
一方、民主党の鳩山由紀夫幹事長は「将来、憲法改正が現実となった時、今回の手続き法で強行採決されたことが何らかの汚点として残るのではないかと心配している。強硬姿勢に転じることで安倍政権の評価が上がると錯覚しているのでは

審議時間は十分?

国民投票法案の審議時間は十分だったのか。野党側は、法案自体の審議時間が58時間だったことを挙げ、一過去の重要法案と比べても審議時間が少ない」と主張している。これは、与党と民主党がそれぞれの原案を提出した06年5月以降の審議時間だ。

一方、与党は衆院憲法調査特別委員会の前身である「憲法調査会」も含めて持ち出し、「審議は尽くされた」とする。調査会は00年1月の設置から451時間審議しており、特別委とあわせれば500時間を超える。

●衆院特別委員会で長時間審議した主な法案		
※カッコ内は特別委員会が設置された年		
①日米安保条約	約136時間	(1960年)
②沖縄返還関連法案	約127時間	(1971年)
③政治改革関連法案	約122時間	(1993年)
④郵政民営化法案	約120時間	(2005年)
⑤教育基本法案	約106時間	(2006年)
⑥消費税関連法案	約96時間	(1988年)
⑦日米防衛協力の指針	約94時間	(1999年)
⑧武力攻撃事態対処法案	約92時間	(2002年)
●国民投票法案	約58時間	(2005年)

は「ないか」と批判した。
共産党の志位委員長は「ほとんど質疑を抜きに大変な憲法が委員会で強行(採決)された。この罪は非常に深い。9条を変え、海外で戦争をする国をつくるのが憲法改定の目的だが、真っ当な国民投票では到底勝ち目がないと、こういう仕掛けを作っている。参院で必ず廃案に追い込む」。

同委の委員の社民党の辻元清美氏は「安倍首相のタカのツメだけではなく、角も牙も出てきた。憲法を総理大臣が私物化している」と批判した。